



「きやべつの会」は京都市下京区・南区にお住まいのがん患者さん、ご家族がお茶を飲みながら交流し生きる力を取り戻す「地域の患者サロン」(下京西部医師会主催)です

寄稿

9月に入ってもまだまだ暑い日が続きますが、みなさま体調はいかがでしょう。今年の暑さは特別でした。とくに 35℃以上の日が続き、体温以上の日もたくさんありました。日中はなるべく外出されない方が多かったと思います。私も趣味でマラソンを走っているのですが、この夏は熱中症になりそうなので、水分を十分にとって走っておりました。

さて最近のがん治療の進歩は目覚ましいものがあります。私の専門の消化器がん領域でもいろいろ進歩しております。非常に早期のがんであれば内視鏡で切除するのみで治療が終了します。外科の手術領域では開腹手術から傷が小さな腹腔鏡下手術、さらにはロボット手術が行われております。ロボット手術では従来の腹腔鏡下手術より細かな作業が得意で、胃の入り口付近の手術や直腸の肛門に近いがんでの手術により有用とされています。

手術で切除できない場合や手術後の再発、また手術後に再発の可能性が高い場合などは抗がん剤治療を行う場合があります。抗がん剤治療も進歩しており、消化器がん領域でも数種類の抗がん剤を組み合わせることにより効果が高くなっています。さらには免疫治療など新しい治療法も追加されています。

抗がん剤では避けて通れないのが副作用です。全身倦怠感や白血球減少、消化器症状などがあります。患者さんによって強く出る方、あまり感じない方がいらっしゃいます。

がん患者さんは臓器ごと、病期進行度でも治療法も予後も変わってきますし、抗がん剤の副作用も違います。その違いをふまえて、皆さんの語らいの場をこれからも設けたいと思います。

京都九条病院副院長 消化器外科 稲田 聡



化学療法室がリニューアルしました

がん化学療法認定看護師 西岡 良子

この度、京都九条病院に新しい外来化学療法室ができました。

外来化学療法室とは「患者さんが通院しながら、安全に安心して化学療法(抗がん薬の治療)が受けられる治療室」の事です。新しくなった外来化学療法室は、新棟南館の2階になります。

1階入り口には、小さな庭があり、可愛いうさぎさんの置物やテーブルとイスが設置されており、憩いの場にもなっています。

外来化学療法の室内は、電動ベッドが3台と電動リクライニングチェアが1台あり、それぞれにテレビやロッカーがあります。ベッドの両横には木目調のパーションがあり、個室のようなプライベート空間になっています。部屋全体はレンガ柄の壁や床で、ダークブラウンの色調で落ち着いた、温かみのある部屋になっています。新しく充実した施設で、今後も患者さんが安心して快適に治療が受けられるように、外来化学療法室スタッフ一同、努めていきたいと思っております。



お願いします

今回の会報誌の担当は
京都九条病院です

【友だち登録にはLINEアプリが必要です】

- ① スマートフォン等でQRコードを読み取ってください。
- ② ID検索LINEアプリで「友だち追加」「ID検索」で「@903NUYTA」を入力してください



ID: @903NUYTA

発行：一般社団法人下京西部医師会

〒601-8452 京都市南区唐橋
堂ノ前町15-9 エステート南ビル301
☎075-693-3900 📠075-693-3911

9月9日にきゃべつの会患者会を5会場で行いました。患者さんとそのご家族にたくさん参加していただき、京都九条病院はメイン会場として、武田病院や南病院に通院している方も含め7人の参加がありました。



方など、話題が尽きる
つれ合い」と表現する方
係ではなく対等の立場で
と言われました。闘病し
表れと感じました。笑い
合い、うなずき合い、
時にはしんみりする場
面もありながら、仲間
としてつながりが持て
た会になったのではない
かと思います。聞く
もよし、語るもよし、
患者さんが主役の会を
今後も続けていきま
す。次回は 12 月を予
定しています。

京都九条病院では、がん患者さんやご家族が集う場として、「サロン・ママ」をオープンしました。毎月第 1 水曜日の午後 2 時から 1 時間、京都九条病院の向かい側にあるママスクエア 1 階で開催しています。がんの治療や不安なこと、生活で工夫していることなど、お茶を飲みながら、お話していきませんか？

がん患者さんやご家族なら、どなたでもご参加いただけます。スタッフ一同、お待ちしております。

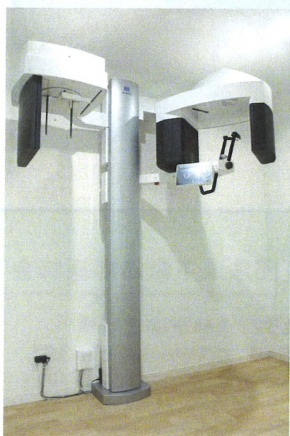
連絡先 京都九条病院外来 高安
TEL 075-691-7172

20
%

初めまして、京都九条病院歯科医師の東（あずま）です。
2023 年 4 月から京都九条病院に歯科部門ができました。
当院では、周術期口腔管理と入院患者さんの歯科治療と口腔ケアを主に行っています。周術期口腔管理って？と思う方もいらっしゃるかもしれませんが。簡単にどういうものかといいますと、全身麻酔で手術を受ける方のお口の中を確認し、手術前に治療が必要な歯はないか、清掃状態はどうか、麻酔で管を口の中に入れるときに抜けてきそうな歯はないかなどをみていきます。手術前に確認することで、例えば前歯がすごく揺れている方に対して、全身麻酔の時に口から管を入れるのですが、管に触れてもすぐに抜けないように一時的に隣の歯と固定をすることができます。また、術前後に歯科衛生士による徹底した口腔ケアを行うことで、誤嚥性肺炎を予防したり、少しでも唇

がん患者さんに対しても化学療法など治療を受けている方は、免疫力が下がっています。さらに口内炎の痛みでご自身での口腔ケアが難しい方もおられます。そんな方に対して、当院歯科は化学療法室の隣にありますので、少しでも誤嚥性肺炎や感染源をなくすように周術期ケアを行っていきます。

歯科医師 東 美珠



歯周病が進行すると、誤嚥性肺炎だけでなく動脈硬化や心疾患、糖尿病なども引き起こしていきます。歯の清掃だけでなく、舌や頬粘膜などの粘膜面の汚れもなくしていくこともとても大切です。

入院患者さんに対して口腔ケアを行うことで、少しでも誤嚥性肺炎のリスクをなくし、歯周病やう蝕を予防したり進行しないようにすることが病院歯科の役割です。

皆様、これから先どうぞよろしく
願い申し上げます。